



素晴らしい思い出が

学 園 長 小 島 澄 人

今年度最後の月になりました。本当に早いものです。コロナで始まりコロナで終わりますが、卒園する子どもたちには「素晴らしい思い出」の年になるよう頑張ってきました。手探りではあっても、「子どもたちにとっては」、の目標の下、安全で、けど思い出に残る保育、行事を考えてきました。最後の最後まで気を抜けません、子どもたちは元気で「幼稚園を楽しもう」と、張り切っています。

玉川中央幼稚園はお別れ遠足、夢の森幼稚園はお別れ散策、柿の実幼稚園は近くの公園に行って思い切って遊んで来ました。

柿の実では、思い切って他の学年をお休みにして年長だけの「子ども祭り」を楽しみました。部屋中を風船で覆った中で転げ回る姿、がらくたで製作する真剣な顔、本当にいろいろなお楽しみコーナーをまわり、最後は園長先生に素敵なコップを。そして、翌日のことです、最後は思い切って「なわとび大会」、悩みに悩んだ末、保護者にもお見せでき、感動の一日になりました。じっと、母親の熱意ある目で、黙視ではあったとしても、子どもたちの頑張る姿を見ることが出来ました。また翌週には、「ドッチボール大会」、本当に悩みました。4コートで繰り広げられる熱戦、黙って声を出さずに応援が出来るか、保護者に見てもらうか、悩みましたが、決断して見て貰いました。約束をしっかりと守っていただきましたが、余りの熱戦に声が聞こえることもありましたが、無事終わることが出来ました。年長さんは約2年間自粛した幼稚園生活でした。思いっきり遊んで満足して巣立って欲しい、その一点からでした。問題もあるかも知れないが、保護者を入れたこと後悔はしていません。子どもたちのプレイは迫力がありません。たくさんのお母さんから「素晴らしい思い出になりました」と、声を掛けられました。ボールを投げる力にはびっくりしました。

いよいよもうすぐ卒園、幼稚園をしっかりと楽しんでください。玉川中央幼稚園は19日、一クラスずつ別々に卒園式です。丁寧に一人ひとりをじっと見つめ送り出したい。夢の森幼稚園は翌20日、みんなの森、自然の中で育った子どもたち、楽しみです。柿の実幼稚園は、16日、17日、整然とした中での晴れやかな卒園式、楽しみです。

年中、年少、満三歳、進級ですね。新しいクラス、新しい友だち、新しい先生、新鮮な思いを抱えていることと思います。あと1ヶ月、元気に先生と過ごし、楽しい幼稚園生活にしましょう。

